

# 健康管理事業 実績報告

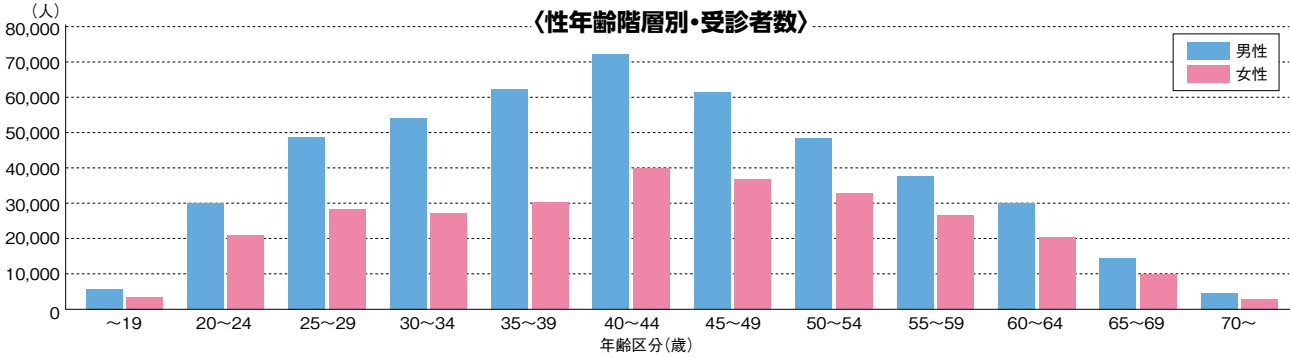
2016年版

# 平成27年度 健康管理事業実績

## 定期健康診断受診状況

■平成27年度職域就労者を対象として行った定期健康診断の受診状況は、KKCの健康管理・判定システムに基づいて集計しました。独自の判定・管理基準を持つ職域・地域・学校の受診状況は、集計から外しています。

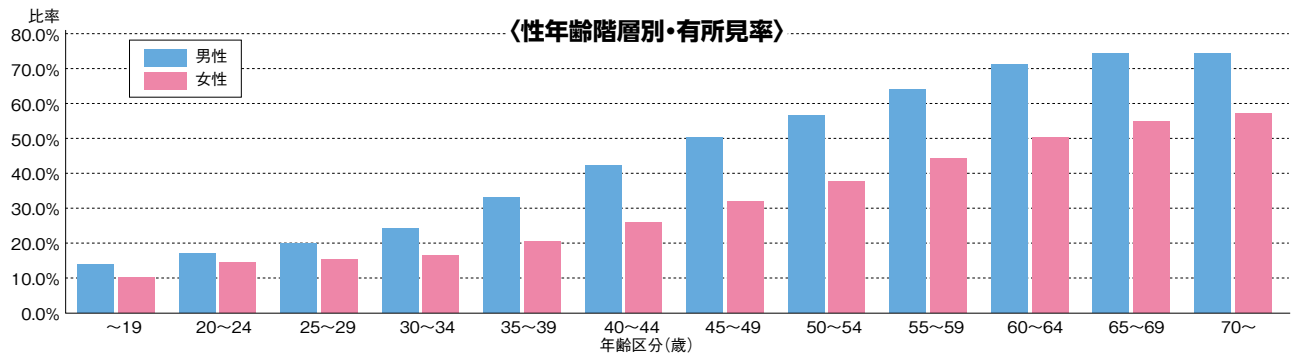
### 性年齢階層別・受診者数と割合



年齢	男性		女性		合計	
	受診者数	比率(%)	受診者数	比率(%)	受診者数	比率(%)
~19	5,712	1.2%	3,397	1.2%	9,109	1.2%
20~24	29,700	6.4%	20,753	7.5%	50,453	6.8%
25~29	48,392	10.4%	28,020	10.1%	76,412	10.3%
30~34	53,785	11.5%	26,953	9.7%	80,738	10.9%
35~39	61,841	13.3%	30,006	10.8%	91,847	12.4%
40~44	71,578	15.4%	39,647	14.3%	111,225	15.0%
45~49	60,906	13.1%	36,442	13.2%	97,348	13.1%
50~54	47,923	10.3%	32,500	11.7%	80,423	10.8%
55~59	37,266	8.0%	26,338	9.5%	63,604	8.6%
60~64	29,884	6.4%	20,185	7.3%	50,069	6.7%
65~69	14,337	3.1%	9,826	3.5%	24,163	3.3%
70~	4,592	1.0%	2,886	1.0%	7,478	1.0%
合計	465,916	100.0%	276,953	100.0%	742,869	100.0%

■集計対象の受診者総数は、742,869人(男性465,916人、女性276,953人)でした。男女とも60歳以上の受診者数(27年度81,710人、H25年度74,201人)が増加する一方、30歳未満の受診者数が減少しています(27年度135,974人、25年度131,008人)。

### 性年齢階層別・所見のあった者の割合

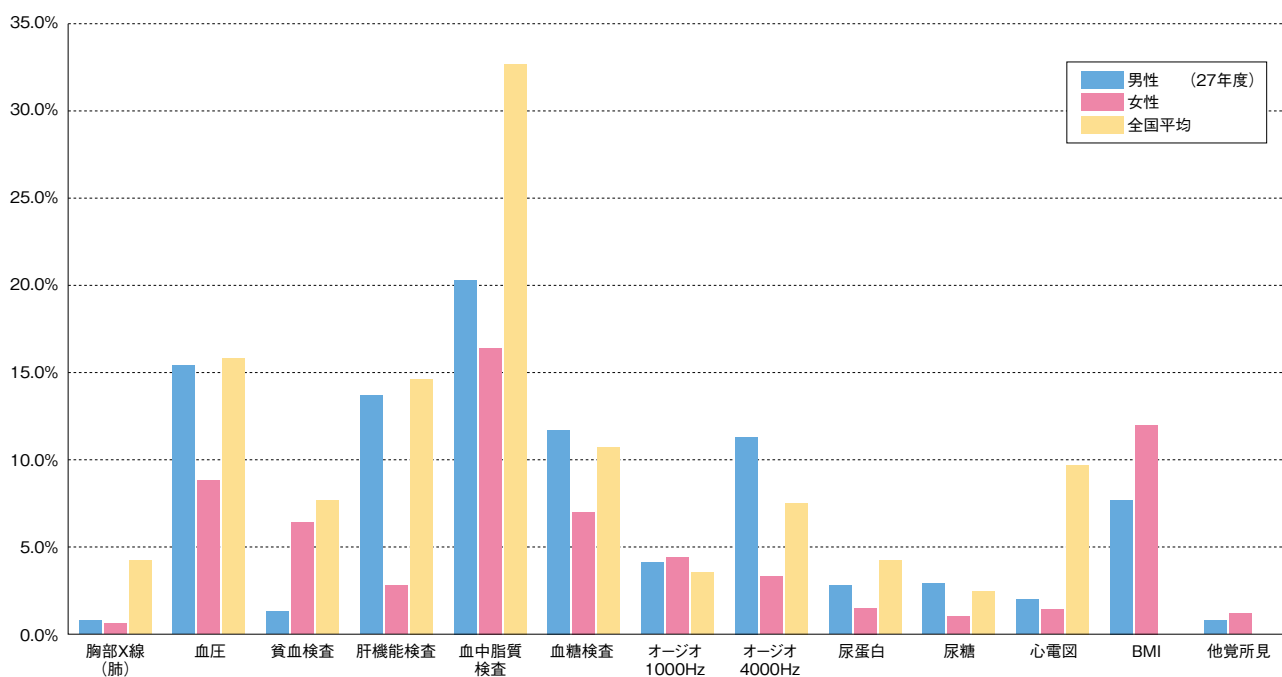


年齢	男性		女性		合計	
	有所見者数	有所見率	有所見者数	有所見率	有所見者数	有所見率
~19	794	13.9%	343	10.1%	1,137	12.5%
20~24	5,087	17.1%	3,002	14.5%	8,089	16.0%
25~29	9,638	19.9%	4,304	15.4%	13,942	18.2%
30~34	13,028	24.2%	4,454	16.5%	17,482	21.7%
35~39	20,540	33.2%	6,178	20.6%	26,718	29.1%
40~44	30,362	42.4%	10,283	25.9%	40,645	36.5%
45~49	30,584	50.2%	11,640	31.9%	42,224	43.4%
50~54	27,175	56.7%	12,248	37.7%	39,423	40.9%
55~59	23,796	63.9%	11,630	44.2%	35,426	55.7%
60~64	21,320	71.3%	10,162	50.3%	31,482	62.9%
65~69	10,668	74.4%	5,394	54.9%	16,062	66.5%
70~	3,413	74.3%	1,648	57.1%	5,061	67.7%
合計	196,405	42.2%	81,286	29.4%	277,691	37.4%

■健診項目全体の有所見率は37.4%(男性42.2%、女性29.4%)でした。年齢とともにほぼ直線的に上昇し、10歳代では男女合わせて12.5%で最も低く、60歳代では男性は65歳からピークで横ばいとなるものの、女性は2から5ポイントのペースで上昇しています。また、男性65歳以上の有所見率は、25年度の81.6%が27年度は74.4%に減少しました。特に高血圧が20.2%から15.1%に低下したことが影響したものと思われます。

厚生労働省の調査による全国有所見率53.6%に比較するとKKC有所見率は37.4%と明らかに低くなっています。KKCでは鉱業、道路旅客運送業、農林業や中小企業など比較的高い有所見率の高い業種に対する健診実績が少ないので、その影響が現れているものと推察しています。

## 性別健診項目別・有所見率

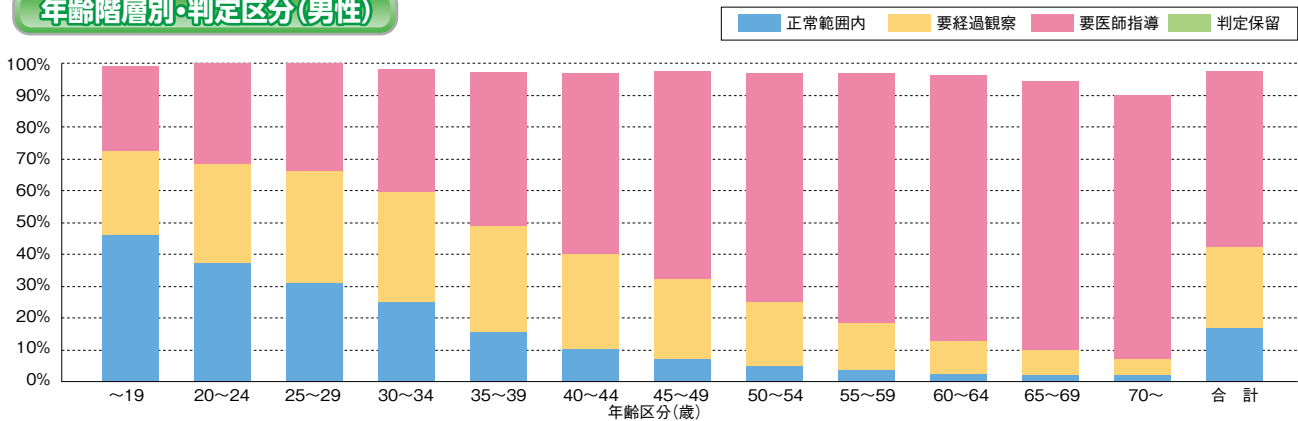


性別	胸部X線(肺)	血圧	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	オージオ1000Hz	オージオ4000Hz	尿蛋白	尿糖	心電図	BMI	他覚所見
男性	0.8%	15.1%	1.3%	13.7%	20.3%	11.7%	4.1%	11.3%	2.8%	2.9%	2.0%	7.7%	0.8%
女性	0.6%	8.8%	6.4%	2.8%	16.4%	7.0%	4.4%	3.3%	1.5%	1.0%	1.4%	12.0%	1.2%
全国平均(27年度)	4.2%	15.2%	7.6%	14.7%	32.6%	10.9%	3.5%	7.4%	4.3%	2.5%	9.8%		

■胸部X線検査(肺)有所見率は1%未満と全国平均より低率です。これは過去画像との比較読影による判定精度の向上が寄与しているものと推察されます。  
 ※血液検査、心電図はKKC基準による所見率です。

# 平成27年度 健康管理事業実績

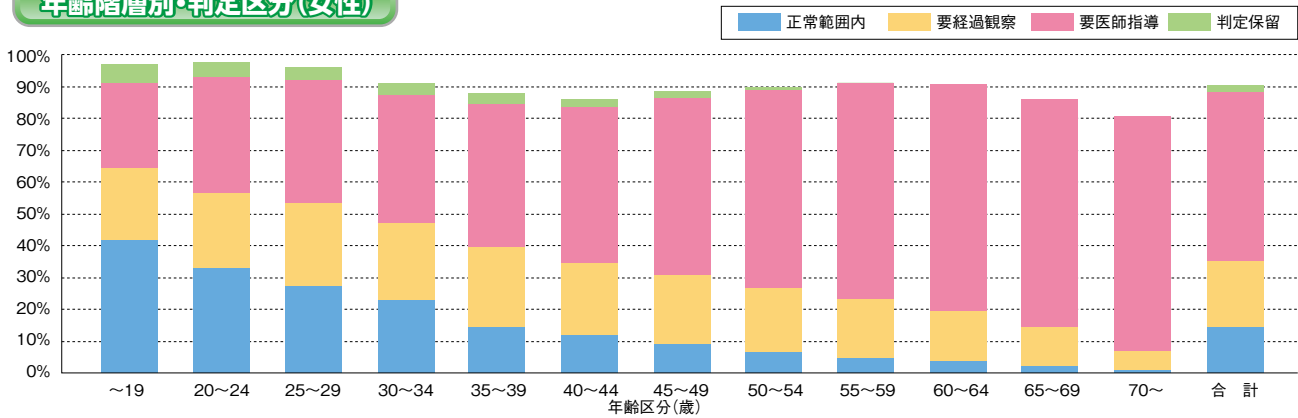
## 年齢階層別・判定区分(男性)



年齢	受診者数	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
~19	5,712	2,625	46.0%	1,498	26.2%	1,532	26.8%	0	0.0%
20~24	29,700	11,032	37.1%	9,309	31.3%	9,321	31.4%	1	0.0%
25~29	48,392	14,947	30.9%	16,879	34.9%	16,516	34.1%	0	0.0%
30~34	53,785	13,497	25.1%	18,486	34.4%	20,657	38.4%	1	0.0%
35~39	61,841	9,672	15.6%	20,413	33.0%	29,953	48.4%	7	0.0%
40~44	71,578	7,198	10.1%	21,427	29.9%	40,863	57.1%	19	0.0%
45~49	60,906	4,241	7.0%	15,353	25.2%	39,747	65.3%	16	0.0%
50~54	47,923	2,407	5.0%	9,549	19.9%	34,603	72.2%	6	0.0%
55~59	37,266	1,354	3.6%	5,502	14.8%	29,204	78.4%	2	0.0%
60~64	29,884	674	2.3%	3,138	10.5%	24,916	83.4%	5	0.0%
65~69	14,337	321	2.2%	1,085	7.6%	12,122	84.6%	2	0.0%
70~	4,592	90	2.0%	227	4.9%	3,819	83.2%	0	0.0%
合計	465,916	68,058	14.6%	122,866	26.4%	263,253	56.5%	59	0.0%

■25年度健康診断の総受診者中、要経過観察は26.0%、要医師指導は56.2%でしたが、それに比較して、27年度は0.3~0.4ポイント高いものの、大きな変化はみられませんでした。4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

## 年齢階層別・判定区分(女性)



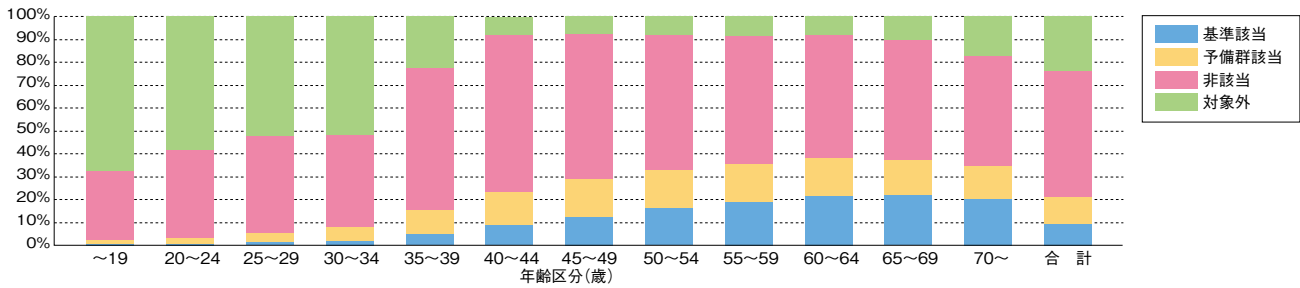
年齢	受診者数	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
~19	3,397	1,419	41.8%	761	22.4%	918	27.0%	199	5.9%
20~24	20,753	6,833	32.9%	4,919	23.7%	7,584	36.5%	962	4.6%
25~29	28,020	7,960	28.4%	6,969	24.9%	10,937	39.0%	1,132	4.0%
30~34	26,953	6,162	22.9%	6,475	24.0%	10,930	40.6%	943	3.5%
35~39	30,006	4,891	16.3%	6,935	23.1%	13,512	45.0%	1,054	3.5%
40~44	39,647	4,668	11.8%	8,990	22.7%	19,445	49.0%	1,109	2.8%
45~49	36,442	3,320	9.1%	7,923	21.7%	20,260	55.6%	863	2.4%
50~54	32,500	2,103	6.5%	6,542	20.1%	20,267	62.4%	304	0.9%
55~59	26,338	1,246	4.7%	4,846	18.4%	17,982	68.3%	9	0.0%
60~64	20,185	750	3.7%	3,157	15.6%	14,487	71.8%	3	0.0%
65~69	9,826	202	2.1%	1,181	12.0%	7,076	72.0%	0	0.0%
70~	2,886	24	0.8%	170	5.9%	2,137	74.0%	0	0.0%
合計	276,953	39,578	14.3%	58,868	21.3%	145,535	52.5%	6,578	2.4%

■25年度 合計平均の要経過観察22.1%、要医師指導52.0%と比較し、27年度は0.5~0.8ポイント高くなっていますが、大きな変化はみられませんでした。女性の判定保留の比率が高いのは、尿検査(月経血混入)によるものと思われます。4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

# 性別年齢階層別・メタボリックシンドローム階層化内訳

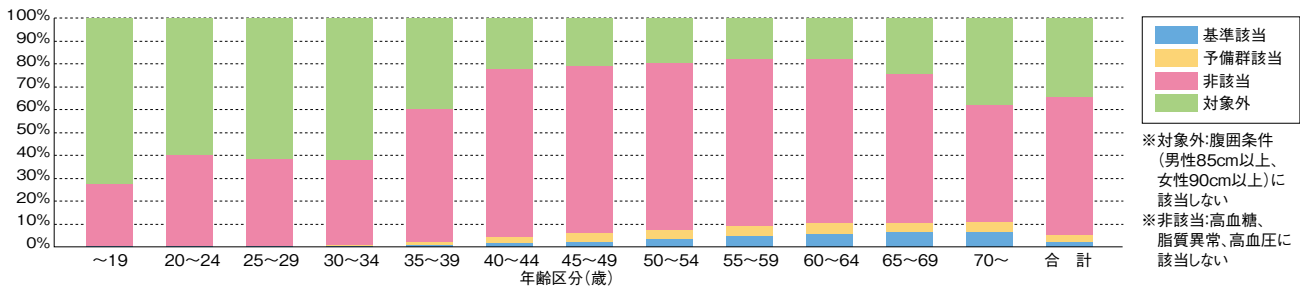
## 男性

年齢	受診者数	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
～19	5,712	36	0.6%	84	1.5%	1,723	30.2%	3,869	67.7%
20～24	29,700	193	0.6%	703	2.4%	11,444	38.5%	17,360	58.5%
25～29	48,392	620	1.3%	1,986	4.1%	20,373	42.1%	25,413	52.5%
30～34	53,785	1,020	1.9%	3,152	5.9%	21,775	40.5%	27,838	51.8%
35～39	61,841	2,909	4.7%	6,671	10.8%	38,197	61.8%	14,064	22.7%
40～44	71,578	6,168	8.6%	10,611	14.8%	48,899	68.3%	5,900	8.2%
45～49	60,906	7,571	12.4%	10,010	16.4%	38,660	63.5%	4,665	7.7%
50～54	47,923	7,698	16.1%	8,006	16.7%	28,324	59.1%	3,895	8.1%
55～59	37,266	7,087	19.0%	6,177	16.6%	20,769	55.7%	3,233	8.7%
60～64	29,884	6,438	21.5%	4,857	16.3%	16,123	54.0%	2,466	8.3%
65～69	14,337	3,105	21.7%	2,242	15.6%	7,479	52.2%	1,511	10.5%
70～	4,592	926	20.2%	653	14.2%	2,220	48.3%	793	17.3%
合計	465,916	43,771	9.4%	55,152	11.8%	255,986	54.9%	111,007	23.8%

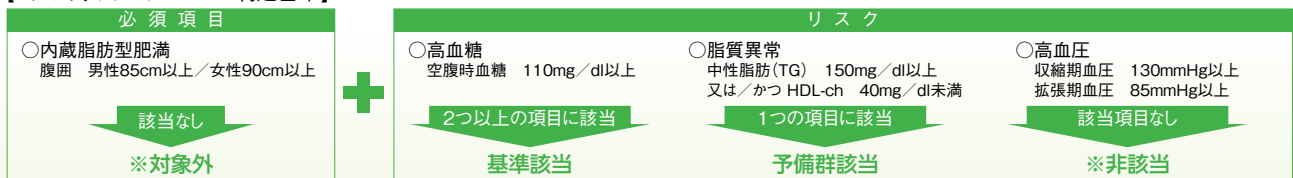


## 女性

年齢	受診者数	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
～19	3,397	3	0.1%	8	0.2%	916	27.0%	2,470	72.7%
20～24	20,753	11	0.1%	64	0.3%	8,257	39.8%	12,421	59.9%
25～29	28,020	30	0.1%	112	0.4%	10,568	37.7%	17,310	61.8%
30～34	26,953	66	0.2%	191	0.7%	9,908	36.8%	16,788	62.3%
35～39	30,006	191	0.6%	490	1.6%	17,358	57.8%	11,967	39.9%
40～44	39,647	545	1.4%	1,195	3.0%	29,004	73.2%	8,903	22.5%
45～49	36,442	758	2.1%	1,426	3.9%	26,648	73.1%	7,610	20.9%
50～54	32,500	1,007	3.1%	1,392	4.3%	23,708	72.9%	6,393	19.7%
55～59	26,338	1,224	4.6%	1,151	4.4%	19,195	72.9%	4,768	18.1%
60～64	20,185	1,119	5.5%	960	4.8%	14,523	71.9%	3,583	17.8%
65～69	9,826	605	6.2%	426	4.3%	6,408	65.2%	2,387	24.3%
70～	2,886	186	6.4%	118	4.1%	1,482	51.4%	1,100	38.1%
合計	276,953	5,745	2.1%	7,533	2.7%	167,975	60.7%	95,700	34.6%



### 【メタボリックシンドロームの判定基準】





# 平成27年度 労災二次健康診断実績

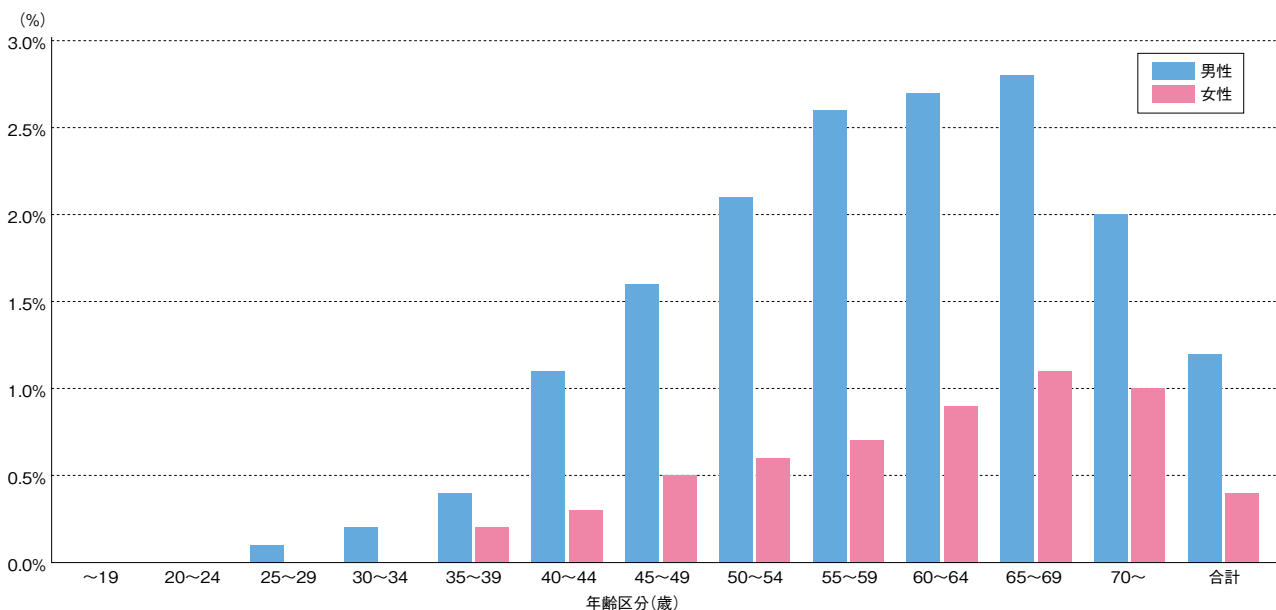
## 労災二次健康診断

■下記のガイドラインが示す項目1～4の全てを満たす受診者を対象とし、脳虚血疾患や虚血性心疾患といった動脈硬化性疾患の精密検査を目的としたものです。その対象者の割合の高さは事業所の健康度の指標となります。

平成27年度の検査対象者の割合は、受診者の0.9%(男性1.2% 女性0.4%)で、前年と同じ比率(男女比率含む)でした。

項目	年齢	男 性			女 性			合 計		
		受診者数	二次健診対象(4項目該当)		受診者数	二次健診対象(4項目該当)		受診者数	二次健診対象(4項目該当)	
			人数	比率(%)		人数	比率(%)		人数	比率(%)
労災二次 対象者	～19	5,712	1	0.0%	3,397	0	0.0%	9,109	1	0.01%
	20～24	29,700	14	0.0%	20,753	2	0.0%	50,453	16	0.03%
	25～29	48,392	32	0.1%	28,020	4	0.0%	76,412	36	0.05%
	30～34	53,785	109	0.2%	26,953	10	0.0%	80,738	119	0.1%
	35～39	61,841	277	0.4%	30,006	46	0.2%	91,847	323	0.4%
	40～44	71,578	794	1.1%	39,647	127	0.3%	111,225	921	0.8%
	45～49	60,906	975	1.6%	36,442	170	0.5%	97,348	1,145	1.2%
	50～54	47,923	1,025	2.1%	32,500	196	0.6%	80,423	1,221	1.5%
	55～59	37,266	961	2.6%	26,338	195	0.7%	63,604	1,156	1.8%
	60～64	29,884	795	2.7%	20,185	180	0.9%	50,069	975	1.9%
	65～69	14,337	396	2.8%	9,826	106	1.1%	24,163	502	2.1%
70～	4,592	91	2.0%	2,886	28	1.0%	7,478	119	1.6%	
合 計	465,916	5,470	1.2%	276,953	1,064	0.4%	742,869	6,534	0.9%	

### 階層別・二次健診対象者(4項目該当)



### 【二次健康診断を行う有所見の診断についてのガイドライン】

以下の検査の1～4の項目すべてを満たすもの

- 血 圧：収縮期血圧140mmHgまたは、拡張期血圧90mmHg以上
- 血中脂質：LDLコレステロール140mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはトリグリセライド150mg/dl以上
- 血 糖：空腹時血糖値(食後8時間以上)：110mg/dl 食後血糖値(食後8時間未満)：140mg/dl以上\*1  
HbA1c(NGSP)：6.0%以上
- 肥 満：BMI25以上、またはウエスト周囲径 男性85cm以上、女性90cm以上

#### 【対象者除外条件】

治療中(内容コード=4)「脳梗塞、脳出血など他の脳血管疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患」  
(日本医師会監修、「2次健康診断項目と特定保健指導のガイドライン」2001より改変)

\*1KKC有所見追加基準

# 平成27年度 特殊健康診断・行政指導による健康診断

## 概 要

特殊健康診断の受診者数は、厚生労働省の統計では増加傾向にあります。KKCの集計では、健康診断種別によって多少異なるものの減少傾向にあります。ただし、特定化学物質等の取り扱い者に対する健康診断のみ受診者数の増加は続いています。主に製造業における新規導入化学物質の取り扱い量の増加によるものと考えられ、それ以外にも健康診断受診数が増加しています。

※2015年度は集計範囲を従来のKKC標準処理から顧客仕様を含めた全件数としました。集計母数が大きくなっているものの、所見区分の各比率については全体を通して大きな変化は認めませんでした。

## 1. 特殊健康診断の有所見率

### ①じん肺健康診断

■受診者数は昨年に引き続き減少しています。管理区分2以上の有所見率は近年1%未満で推移しており、厚生労働省の調査より低値を示しています。

対象物質	受診者数	管理区分									
		管理1	管理2			管理3			管理4		
じん肺	6,275	34	11	8	2	2	11	1	0	0	0
	比率	0.54%	0.18%	0.13%	0.03%	0.03%	0.18%	0.02%	0.0%	0.0%	0.0%

### ②有機溶剤健康診断

■業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管理区分					
		B1	B2	C	R	T	TO
有機溶剤	40,689	1,405	0	0	28	6,425	1,987
	比率	3.5%	0.0%	0.0%	0.1%	15.8%	4.9%

### ③鉛健康診断

■業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管理区分					
		B1	B2	C	R	T	TO
鉛	2,620	0	0	0	1	496	93
	比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.04%	18.9%	3.5%

### ④特定化学物質等健康診断

■業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管理区分					
		B1	B2	C	R	T	TO
特化物	35,291	390	0	0	4	5,491	1,036
	比率	1.1%	0.0%	0.0%	0.01%	15.6%	2.9%

# 平成27年度 特殊健康診断・行政指導による健康診断

## ⑤石綿健康診断

■受診者数は年々減少する傾向ですが、業務上有所見とする各管理区分の内訳に大きな変化はなく、厚生労働省の調査結果と同等です。

対象物質	受診者数	管理区分					
		B1	B2	C	R	T	T0
石綿	4,749	0	5	0	0	1,439	91
	比率	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	30.3%	1.9%

## ⑥電離放射線健康診断

■各管理区分に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分					
		B1	B2	C	R	T	T0
電離	5,988	208	20	0	9	1,163	181
	比率	3.5%	0.3%	0.0%	0.2%	19.4%	3.0%

## ⑦歯科健康診断

■受診者数は昨年に引き続き増加していますが、各管理区分に大きな変化は認めません。

全実施事業所220社中、135社が受診者10人未満で、主に研究分野などでクロム酸や塩酸などの取り扱い業務に従事されています。

健康診断名	受診者数	管理区分				
		特別	1	2	3	4
歯科健康診断	4,088	0	517	3,538	35	2
	比率	0.0%	12.6%	86.5%	0.9%	0.0%未満

## 2. 行政指導による健康診断の有所見率

### ①紫外線・赤外線業務従事者健診

■受診者数は昨年に引き続き増加していますが、各管理区分に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分					
		B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線業務従事者健診	2,759	89	0	0	0	33	220
	比率	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	8.0%

### ②騒音作業健康診断

■受診者数は昨年に引き続き増加していますが、各管理区分に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分							
		A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業健康診断	14,201	4,526	3,243	610	329	0	0	134	333
	比率	31.9%	22.8%	4.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.9%	2.3%

T :騒音以外の原因による聴力低下がある場合(管理 Rに属するものを除く)

T0 :騒音以外の原因と考えられる聴力低下を認めるが、直ちに治療を必要としないもの

### ③VDT作業従事者健診

■受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分			
		B1	B2	B3	C
VDT作業従事者健診	14,464	395	2,116	0	0
	比率	2.7%	14.6%	0.0%	0.0%



# ストレスチェック

## ストレスチェック集計(全般)

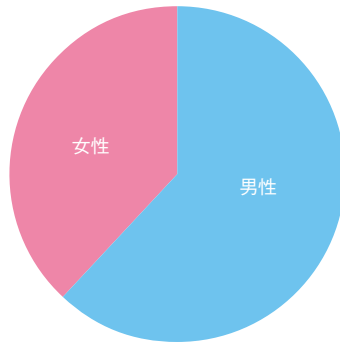
集計対象期間	受検者数	受検事業所数
2015/12/01 ~ 2016/03/31	2,657	200
2015/12/01 ~ 2016/10/20	81,553	689

※平成27年12月1日から施行されたため、当年度は受診者数が少なく、また業種業態に偏りがみられたため、全体の傾向を概観することを目的に集計範囲を2016年10月20日までとしています。

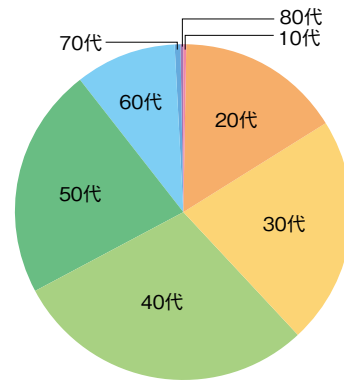
※未受検数を把握できないため、「受検率」は計算できませんでした。

性別	受検者数	割合
男性	50,586	62.0%
女性	30,967	38.0%

■受診割合:全体集計



■年齢別受診割合:全体集計



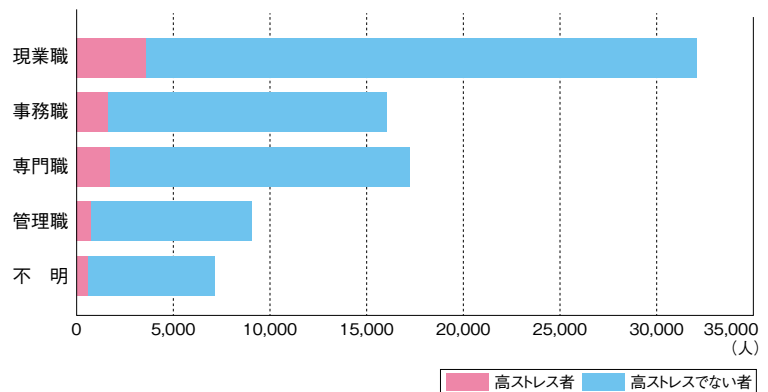
年齢階層	受検者数	割合
10代	388	0.5%
20代	12,892	15.8%
30代	17,947	22.0%
40代	23,733	29.1%
50代	18,238	22.4%
60代	7,887	9.7%
70代	453	0.6%
80代	15	0.02%

紙受検者数	79,906
紙受検事業所	676
Web受検者数	1,647
Web受検事業所	24

■合計点法による職種別高ストレス者の割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
不明	554	7,130	7.8%
管理職	736	9,076	8.1%
専門職	1,710	17,225	9.9%
事務職	1,632	16,064	10.2%
現業職	3,581	32,058	11.2%
全体	8,213	81,553	10.1%

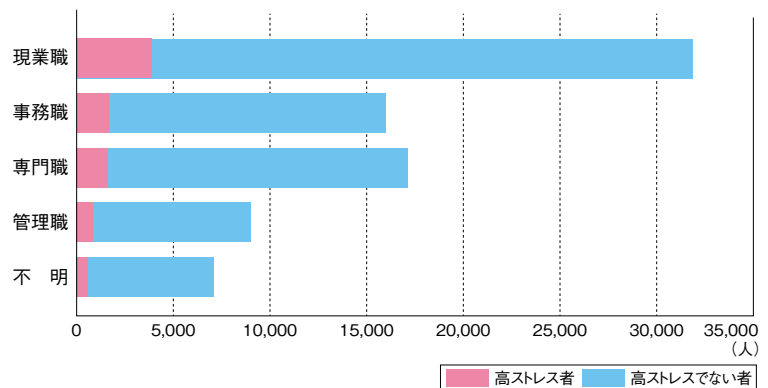
■合計点法による高ストレス者数



■素点法による職種別高ストレス者の割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
不明	557	7,130	7.8%
管理職	834	9,076	9.2%
専門職	1,639	17,225	9.5%
事務職	1,652	16,064	10.3%
現業職	3,893	32,058	12.1%
全体	8,575	81,553	10.5%

■素点法による高ストレス者数



高ストレス者割合平均値では、合計点法10.1%、素点法10.5%と差異はなく、分析平均値として示された10%とほぼ一致します。

### 高ストレス者を選定するための方法<基本となる考え方>

■次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。

①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者

②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者

■上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。

-厚生労働省HPより抜粋-

# ストレスチェック

## ■集団分析全国平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.7	7.9	7.5	8.1
女性	7.9	7.2	6.6	8.2

平均値 出典:平成19年度総括・分担報告書

表4.(職業性ストレス簡易調査票下位尺度の職種別平均値 および標準集団との比較)  
(厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「職業性ストレス簡易調査票及び労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの職種に応じた活用法に関する研究」)

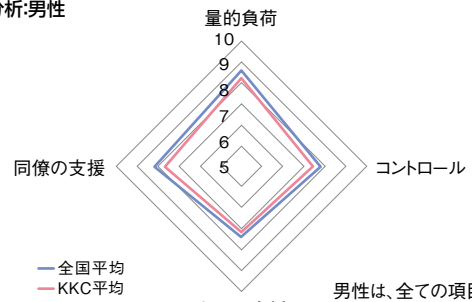
## ■集団分析KCCにて受検された事業所全体の平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.2	7.5	7.3	7.7
女性	7.9	7.1	6.9	7.9

## ■全国平均とKCC平均の差

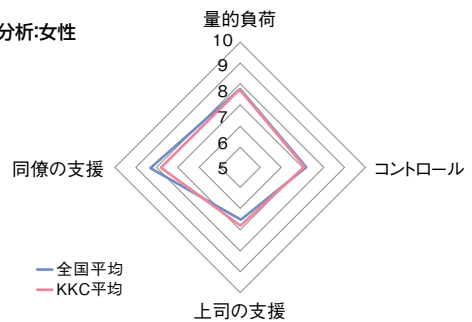
性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	0.5	0.4	0.2	0.4
女性	0.0	0.1	-0.3	0.3

## ■集団分析:男性



男性は、全ての項目において全国平均を下回っています。

## ■集団分析:女性



## ■職種別集団分析におけるストレス要因の全国平均(東京医科大学の調査より)

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	管理職	9.1	8.4	8.0	8.4
	専門職	8.7	7.9	7.4	8.0
	事務職	8.6	8.0	7.7	8.2
	現業職	8.5	7.5	7.4	8.0
女性	管理職	9.3	7.7	6.7	8.0
	専門職	7.9	7.2	6.7	8.2
	事務職	7.6	7.6	6.8	8.1
	現業職	7.5	7.2	6.3	7.8

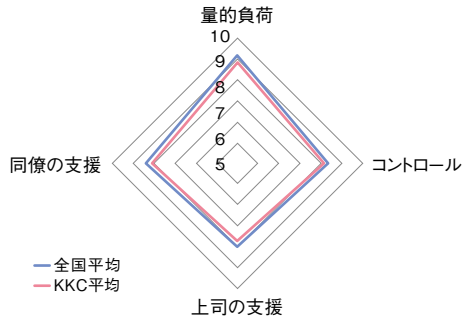
## ■KCCでの受検者集団分析における事業所職種別ストレス要因の平均

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	不明	6.2	5.7	5.4	5.8
	管理職	8.9	8.2	7.8	8.1
	専門職	8.8	7.8	7.7	8.1
	事務職	8.4	7.8	7.7	8.0
	現業職	8.0	7.3	7.0	7.6
女性	不明	6.3	5.8	5.5	6.5
	管理職	9.6	8.0	7.5	8.3
	専門職	9.2	7.3	7.6	8.5
	事務職	7.5	7.7	7.2	8.0
	現業職	7.7	6.9	6.6	7.9

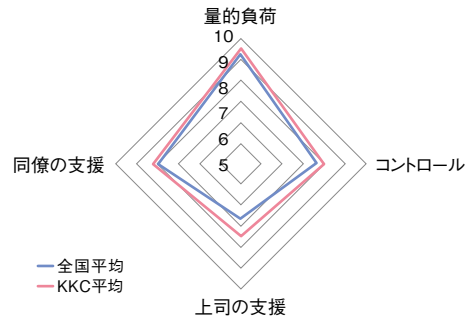
## ■全国平均とKCC平均の差

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	管理職	0.2	0.2	0.2	0.3
	専門職	-0.1	0.1	-0.3	-0.1
	事務職	0.3	0.2	0.0	0.2
	現業職	0.5	0.2	0.4	0.4
女性	管理職	-0.3	-0.3	-0.8	-0.3
	専門職	-1.3	-0.1	-0.9	-0.3
	事務職	0.1	-0.1	-0.4	0.1
	現業職	-0.2	0.3	-0.3	-0.1

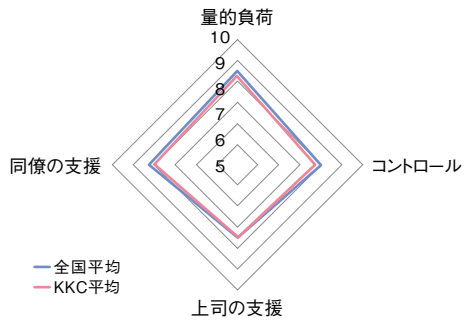
■ 集団分析: 男性管理職



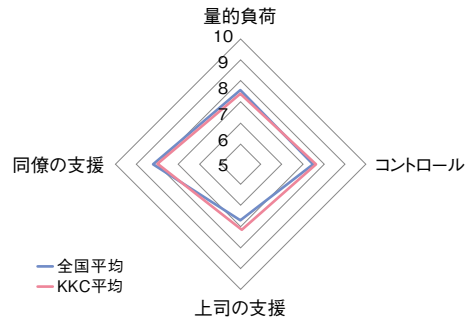
■ 集団分析: 女性管理職



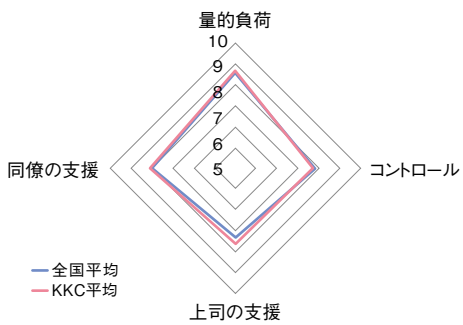
■ 集団分析: 男性事務職



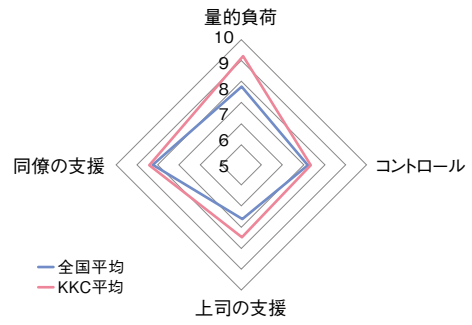
■ 集団分析: 女性事務職



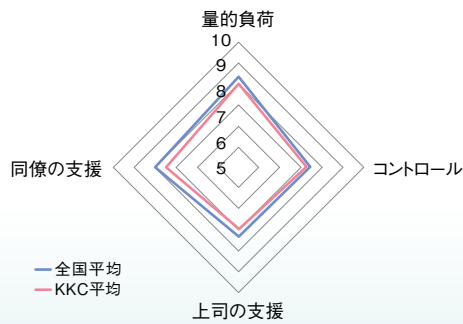
■ 集団分析: 男性専門職



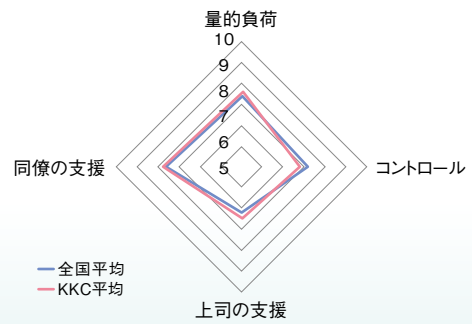
■ 集団分析: 女性専門職



■ 集団分析: 男性現業職



■ 集団分析: 女性現業職



男性は、全国平均との差異があまり見られませんが、女性は差異が見られました。



**KKC** 近畿健康管理センター

URL <http://www.zai-kkc.or.jp/>



- インキ:大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷